

◆感染リスク等評価

1) 工事概要等

1. 工事名 :
2. 工事概要 :
3. 補足詳細 :
4. 対象範囲 :

2) 関連部署等（感染管理室、施設課除く）

--

3) 建築・改築工事に伴う感染リスク評価表

第2段階 患者 リスク グループ	第1段階	建築作業内容の種類			
		A	B	C	D
患者 リスク グループ	1	I	II	II	III/IV
	2	I	II	III	IV
	3	II	III	III/IV	IV
	4	III	III/IV	III/IV	IV

○第1段階：建築作業内容の種類（下表）を選択する。

A	目視による確認作業、非破壊作業 <ul style="list-style-type: none"> ■ 天井の点検口を天井裏目視確認のために開ける（4.6平方メートルあたり点検口1ヵ所以下） ■ 塗装（研磨を除く） ■ 壁面の壁紙補修（研磨を除く）、配線作業、部分的な排水管の修理など、天井裏へのアクセス（目視確認目的の作業を除く）でも塵埃が立たず、壁切断を要しない作業
B	少量の塵埃が生じるが小規模で短期間の作業 <ul style="list-style-type: none"> ■ 電話やコンピューターケーブルの設置 ■ EPS, PS, DS, 機械室へのアクセス ■ 壁や天井の切断（塵埃の飛散が制御可能）
C	中等度から大量の塵埃を生じるか、既存の建築物の一部の取り壊しや除去を要する作業 <ul style="list-style-type: none"> ■ 壁塗装、壁紙仕上げのための下地の研磨 ■ 床材、天井板、造り付け家具、扉の除去 ■ 新たな壁面の設置、大規模な配線作業 ■ 天井裏における限局的な配管作業や配線作業 ■ 一日で終了しない作業
D	大規模な取り壊しあるいは建築プロジェクト、人身事故を起こす可能性が高い工事 <ul style="list-style-type: none"> ■ 連日の作業を要する建築作業 ■ 大規模な取り壊しや配線システムの除去、火災・爆発のリスクがある作業 ■ 新規の建築作業 ■ 高所からの落下物、段差による転倒、解体に伴い人身事故を発生する可能性が高いもの

○第2段階：作業により影響を受ける患者リスクグループ（下表）を選択する。

1	低水準リスク 環境汚染により生じる感染リスクが比較的低いと考えられる部門や場所 <ul style="list-style-type: none"> ■ 事務エリア ■ 廃棄物保管庫 ■ 霊安室 ■ 解剖室 ■ 屋外
2	中水準リスク 環境汚染により直接的または間接的な感染リスクが生じる部門 <ul style="list-style-type: none"> ■ 外来診察室（処置室除く） ■ リハビリテーション科 ■ MEセンター ■
3	高水準リスク 感染リスクが高い患者の診察、処置、検査を行う部門であり、環境汚染により直接的または間接的に高い感染リスクが生じる部門 <ul style="list-style-type: none"> ■ 外来処置室 ■ 外来化学療法室 ■ 救命救急センター外来（ER） ■ 光学医療診療部 ■ 血液浄化療法部 ■ 病理検査室 ■ 臨床検査部 ■ 放射線科 ■ 薬剤部 ■ 栄養管理部（厨房等） ■ リネン管理室 ■ 一般病棟（集中治療領域除く） ■
4	最高水準リスク 感染リスクが高い患者に対して侵襲性のある処置、検査、手術を行う部門であり、環境汚染により直接的または間接的に著しく高い感染リスクが生じる部門 <ul style="list-style-type: none"> ■ 集中治療領域（ICU、NICU、救急病棟） ■ 血管造影室 ■ 手術部 ■ 医療器材管理部 ■ 易感染患者用病室（B棟8階841～853号室） ■ 分娩室（C棟6階673～677号室）

※複数該当する場合は、よりリスクの高いグループを選択

○備考

--